

県央基幹病院での実習を終えて

今年 6 月 9 日から一カ月、済生会新潟県央基幹病院で総合診療学の臨床実習をさせていただきました。初診外来を多く経験させていただき、問診や診察をしながら主訴の原因を想起し、検査計画を立てることは難しくも、とても勉強になる過程でした。実際の診療では 1 回の外来で主訴の原因が分からないこともありました。患者さんの希望を聞きながら主訴や不安を取り除くための対応をしている先生方を見て、「病気ではなく人を診る」ということの重要性を実感しました。静脈路確保や動脈採血といった基本的な手技も多く経験させていただきました。看護師さんには、血管の探し方や針の進め方などについてアドバイスいただき、回数を重ねるごとに上達できたと思います。一カ月の実習で多くの症例や手技を経験し、自分の未熟さを痛感することもありましたが、できることが増えたことは自信にもなりました。

最後に、充実した 1 か月を経験させてくださった先生方、病院スタッフの皆様に感謝を申し上げます。